2018
IMP Kart Race
特別規則書

主催：井頭モーターパーク　㈱リンサン

2018 IMP Kart Race 開催概要

この規則書は、より良い大会にする為、大会期間中であっても見直しする場合があります。変更の場合は、当サーキットのHP上でお知らせします。皆様のご理解・御協力お願いします。

○開催趣旨

井頭モーターパーク レーシングコースで、カートレースのシリーズ戦（年間 5 戦の獲得ポイントで争うレース）を開催します。

当サーキットでスポーツ走行されている方は勿論、本格的にレースに参加されている方、これからレース参加を考えている方など『ロープライスで誰でも参加しやすいレース』をテーマにした大会です。

個人のスキルUPや、皆様方の交流と、親睦を深めることも目的としています。

又、マイカートがない人にはレンタルカートクラスも設定しましたので、安全にカートに乗れる方であれば誰でも参加可能です。気軽にご参加下さい。

○大会名

2018 IMP Kart Race

○開催場所

井頭モーターパーク レーシングコース（620m）

○オーガナイザーの名称と住所

株式会社 リンサン

〒321-4415

栃木県真岡市下篭谷 468-2

TEL:0285-80-5440 FAX:0285-80-5441 HP http://www.linson.co.jp/

○日程

●全 5 戦のシリーズ戦

・第 1 戦： 4 月 1 日（日）

・第 2 戦： 5 月 20 日（日）

・第 3 戦： 7 月 29 日（日）

・第 4 戦： 9 月 2 日（日）

・第 5 戦（FINAL）： 10 月 7 日（日）

※上記の日程は暫定ですので、変更になる場合があります。

○開催概要

RK4 クラス（IMP4stレンタル車両：GX200、又は同等車両）とGT4 クラス（4 ストローク 200 cc～270cc） 及びIMPカデットクラス（KT100SECカデット仕様）とGT2 クラス（2 ストローク 100cc）のカート車両を使用した周回（スプリント）レース及び、RK4 クラス及び、GT4 クラス混走の耐久レースを開催します。

○開催クラス及び参加定員

●スプリントレース（個人戦）

・RK4 クラス（IMP4stレンタル車両：GX200、又は同等車両）：**16 台**

・GT4 クラス（4st スポーツカートクラス）：**16 台**

・IMPカデットクラス（KT100SECカデット仕様）：**16 台**

・GT2 クラス（2st 100ccクラス）：**16 台**

※各クラスともに 4 台未満（3 台以下）の場合は、当該クラスは基本的に不成立（中止）となります。

※各クラスともに参加台数が 12 台未満（11 台以下）の場合は、他クラスとの混走になる場合があります。

●耐久レース（チーム戦とするが、1 人でも参加OK）

・RK4 クラス及び、GT4 クラス（4st車両のみ）によるピットストップ時間ハンディ付きの混走：全クラス合計 **16 台**

※全体の参加台数が 4 台未満（3 台以下）の場合は、当該クラスは基本的に不成立（中止）となります。

〇参加料金

●スプリントレース

・参加料金には**ドライバー1 名、ピットクルー1 名**分の**登録料**が含まれます。（ピットクルーが居なくても同額）

1）RK4 クラス：IMPレンタルカート 1 台 12,000 円（レースエントリー費+レンタル車両代）中古ドライタイヤ 1st込

2）RK4・GT4・IMPカデット・GT2：マイカート 1 台 **10,000 円**（参加者は午前中の**スポーツ走行料**が**無料**）

3）GT4・GT2 クラス：IMPレンタルカート 1 台 15,000 円（レースエントリー費+車両代）中古ドライタイヤ 1st込

4）追加ピットクルー登録料（1 名）：**1,000 円**

※耐久レースにも参加される方は、**Wエントリー割引**が適用され、上記金額より **2,000 円引き**です。

※レンタルカートのスポーツ走行は別途有料となります。但し、車両が用意できる場合のみ対応します。

●耐久レース

・参加料金には**ドライバー3 名**まで、**ピットクルー1 名**分の**登録料**が含まれます。（ピットクルーが居なくても同額）

1）RK4 クラス：IMPレンタルカート 1 チーム 20,000 円（レースエントリー費+車両代）中古ドライタイヤ 1st込

2）RK4・GT4 クラス：マイカート 1 チーム 15,000 円（参加者は1台のみ午前中の**スポーツ走行料**が**無料**）

3）GT4 クラス：IMPレンタルカート 1 チーム 25,000 円（レースエントリー費+車両代）中古ドライタイヤ 1st込

4）追加ピットクルー登録料（1 名）：**1,000 円**

※レンタルカートのスポーツ走行は別途有料となります。但し、車両が用意できる場合のみ対応します。

※マイカートの方は、チーム全員のスポーツ走行が無料です。但し、1 台をシェアしての乗車とします。

〇エントリー受付期間

●レース開催 1 ヶ月前から 7 日前まで

〇エントリー方法及び注意事項

●**所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加料金を添えて井頭モーターパーク レーシングコース受付に提出、若しくは現金書留にて郵送して下さい。（期限はレース開催日の 1 週間前までとし到着順を優先します。）**

郵送先 ： 〒321-4415 栃木県真岡市下篭谷 468-2 株式会社 リンサン 井頭モーターパーク宛

TEL：0285-80-5440 FAX：0285-80-5441

※止むを得ない理由で来場できない場合は、受付期間中にFAXまたはEメールでの申し込みも可能とします。

但し、レース前日までにエントリー用紙（原紙）と参加料金を提出して下さい。

※キャンセルは、FAX、Eメールでの申し込みをされた方を含め全員、レース開催 7 日前からは出来ません。

※レンタルカートを希望の場合は台数に限りがある為、事前予約して下さい。（先着順です）

※各クラスともに 4 台未満（3 台以下）の場合は基本的に不成立（中止）となりますが、参加者の同意を得て、賞典無しの混走レースになる場合があります。

※レースの成立するクラスが少ない場合は、大会を延期、又は中止する場合があります。

※IMPレンタルカートを使用する方は、車両トラブルの理由により、レースの始めから出走できない場合があります。その場合、エントリー代は返還されます。但し、車両がコース上を少しでも走行した場合は出走となり、エントリー代は返還されません。又、車両はスプリントと耐久で使用するチームが別々に存在しますので、トラブル等により、以降の使用が不可となる場合があります。この事をご理解いた上でエントリーお願いします。

〇参加資格

●次の何れかに該当する方が対象です。

・当サーキットのレーシングコースでレース前日までに、スポーツ走行またはレンタルカート乗車の実績がある方

・過去にレース経験のある方（他サーキットを含む）

・SL又は、JAFカート会員の方

・特別に井頭モーターパークが参加を認めた方（年齢制限はなし）

・RK4 クラスに参加される方のみ、IMPレンタルコースの 4st車両に乗車経験（レース含む）がある方

※満 18 歳未満の方は、保護者の同伴・同意が必要となります。尚、無条件で出場できる最低年齢は小学 5 年生（満 11 歳）とします。但し、IMP カデットクラスのみ小学 2 年生（満 8 歳）以上から可能とします。又、満 18 歳未満の方は、親権者の承諾を要しますので、親権者が自筆にて、署名・捺印し、参加申込書を提出して下さい。

※自分の行動や他の選手、ピットクルー、応援団に対しても、紳士的な対応をとれる方が対象です。ルールを守らない、マナーが悪い等、他人に迷惑をかける方は参加をお断りする場合があります。

〇1 チーム登録人数

●スプリントレース:ドライバー1 名、ピットクルー2 名まで登録可

※ピットクルー登録料は 1 名まで無料、2 人目は￥1,000 となりますが、居ない場合（0 人）でも参加はできます。

●耐久レース:ドライバー1 名～3 名、ピットクルー2 名まで登録可

※ピットクルー登録料は 1 名まで無料、2 人目は￥1,000 となりますが、居ない場合（0 人）でも参加はできます。

〇車両抽選（IMP レンタルカートのみ）

●RK4 クラス、GT4 クラス、GT2 クラスのIMPレンタル車両を使用する方は、第 1 戦のみ当日の受付順で抽選し決定します。又、レースごとに車両抽選はせず、1 日同じ車両を使用します。

●上記クラスで第 2 戦目以降は、シリーズ順位表（ポイント表）の下位のチーム（ドライバー）から車両を選択する権利が与えられます。（新規チームの場合は最優先となり、その中からエントリー順で優先順位が決まります。）又、レースごとに車両抽選はせず、1 日同じ車両を使用します。

●割り当てられた車両に対しクレームをつけることは一切出来ません。又、基本的に車両交換も不可です。

●レース中、自然的に車両トラブルがあった場合、修理できるものに対してのみ対応します。（事故は除く）

※レースに参加されるIMPレンタル車両を使用する方は、前のレースで自分のチームが使用する車両にトラブル等が起き、走行が不能となった場合は、予備車両があれば交換になります。又、予備車両の台数よりもチーム数が上まわった場合は、抽選で決定し、ハズレを引いたチームは残念ながら出走は出来なくなります。尚、他のチーム員・ドライバー・主催者・オフィシャルなどに抗議は出来ませんのでお願いします。

〇車両検査-1（出走前簡易車検）

●参加車両の車両検査はタイムスケジュールに従って、各自のピットで検査員の訪問車検が行われる為、必ず車両を準備しピットで待機していて下さい。

●車検時には、車両・装備（服装）の検査が行われる。（装備、及び技術規定、車両規定の項目を参照して下さい。）

●車検に合格していない車両で、特に危険と判断された場合は、参加を認められない場合があります。

●主催者及び役員（オフィシャル）は大会中、必要に応じて随時車両の検査を行う権限を有する。

※基本的に、通常のスポーツ走行が可能な車両と装備であれば問題ないです。

〇ドライバーズブリーフィング

●競技に関する要領説明などを行う為、ドライバー本人が必ず出席しなければなりません。

〇レース内容

●スプリントレース

・RK4・GT4・IMPカデット・GT2 の各クラス

公式練習　　5 分

タイムトライアル　5 分

予選ヒート　　12 周　（レース距離：620m×12 周＝7,440m）

決勝ヒート　　15 周　（レース距離：620m×15 周＝9,300m）

※各クラスともに 4 台未満（3 台以下）の場合は、当該クラスは基本的に不成立（中止）となります。

※各クラスともに参加台数が 12 台未満（11 台以下）の場合は、他クラスとの混走になる場合があります。

●耐久レース

・RK4 クラス及び、GT4 クラスの混走で、クラス毎にドライバー交代時、ピットストップ時間のハンディを付けて行います。

公式練習　　10 分

タイムトライアル　5 分

決勝　　90.分

※参加台数が 4 台未満（3 台以下）の場合は、基本的に不成立（中止）となります。

〇スプリントレース（RK4 クラス・GT4 クラス・IMPカデットクラス・GT2 クラス）

●公式練習

・各クラスともに 5 分間の公式練習を設け、必ず 1 周以上の走行を義務づけます。（計測用トランスポンダーのチェックも兼ねます。）

●タイムトライアル

・各クラスともに 5 分間のタイムアタック時間を設け、ベストラップを採用します。

・タイムトライアルの成績は次の順序により決定されます。

ベストタイムによる順位（同タイムの場合はセカンドタイム→サードタイムの順で採用します）

ノータイムの場合は最下位となりますが、ノータイムが複数台いた場合は、公式練習のタイム順で決めます。

・当該クラスの参加台数が 14 台以上の場合は、2 グループに分けて行う場合があります。

・グループ分けする場合は、ゼッケン順に前半グループ、後半グループに分け、各グループの最小ゼッケン者の抽選により、グループの出走順を決定します。尚、順位は両方のタイムを合わせて集計し決定します。

・天候の急変等、明らかな理由で路面状況が変化したと判断し、尚且つ各グループのタイム差が大きい場合（グループ間のトップタイム比較で 102%を超えた場合）は、最速タイムを記録したグループをIN側、もう一方のグループをOUT側とし、各グループの順位はタイム順に決定する場合があります。尚、協議の上決定します。

・タイムトライアル中、途中のピットインがあった場合、再出走は出来ません。

●予選ヒート

・周回数は各クラスともに 12 周とします。（グリットはタイムトライアル結果の速い順です。）

●決勝ヒート

・周回数は各クラスともに 15 周とします。（グリットは予選ヒート結果の速い順です。）

●スタート方式

・RK4 クラス・GT4 クラス（予選ヒート・決勝ヒートに適用）

1）スタートは信号機によるスタンディングスタートとします。信号機を使用しない場合は、日章旗で合図します。

2）参加者はピットアウト後 1 周し、コース上スターティンググリッドに車両を止めて下さい。

3）全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、1 周のフォーメーションラップを行います。

4)フォーメーションラップを行うことの出来なかった車両については、ピットスタートとなります。

5)フォーメーションラップ終了後、再度スタートグリッドに着いた時点で、赤信号が点灯し、数秒後に消灯した時点からレーススタートとなります。

6)規定周回数終了時のトップからチェッカーが振られレース終了となります。

・IMPカデットクラス・GT2 クラス（予選ヒート・決勝ヒートに適用）

1)スタートはローリングスタートになります。

2)参加者はピットアウト後 1 周し、コース上スターティンググリッドに車両を止めて下さい。

3)全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、セル付きエンジン→押し掛けの順でエンジンを始動し、ローリング開始となります。

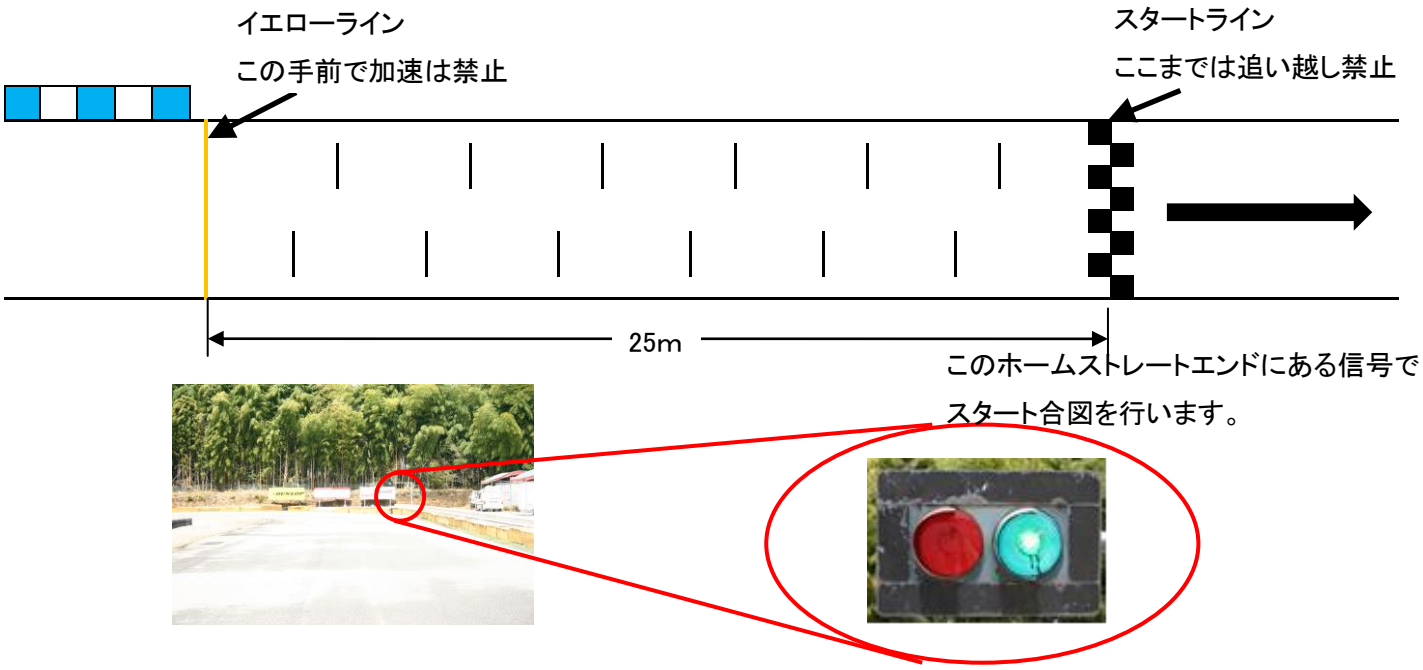
4)ローリングに遅れた場合、隊列復帰ライン（ADVANの看板）までであれば、自分のポジションに戻れるものとします。ただし、トラブルなどで隊列から大きく遅れてしまい、白地に赤×印ボードが出された場合、隊列の最後尾に着かなければなりません。

5)ローリング中に停止した場合は、全車が通過するまでは再スタートしてはいけません。再スタート後、隊列の最後尾に着き、自分のグリッドには戻れません。

6)スタートラインから 25m 手前に引いてあるイエローラインを自分のカートが通過するまでは、加速を禁止します。また、スタートラインまではグリッドポジションの変更や追い越し禁止です。また、スタートライン中央にパイロンが設置してある場合は、グリッド奇数列が内側、グリッド偶数列が外側を通過し、パイロンに接触してはなりません。接触した場合はペナルティ対象です。

7)ローリング開始後、赤信号が点灯され、隊列が整い次第、赤信号を消灯し、スタートとなります。ローリングを更に 1 周行う場合は、ミススタート旗（緑に黄色の山形）が振られ赤信号は点灯されたままになります。
尚、日章旗によるスタート合図を行う場合は、日章旗が振られた瞬間からスタートとなります。

8)規定周回数終了時のトップからチェッカーが振られレース終了となります。



○耐久レース（RK4 及び、GT4 クラスの混走）

●公式練習

・10 分間の公式練習を設け、必ず 1 周以上の走行を義務づけます。（計測用トランスポンダーのチェックも兼ねます。）

●タイムトライアル

・5 分間のタイムアタック時間を設け、ベストラップを採用します。

・RK4・GT4 クラスに関係なくTT結果の速い順から順位を決めます。

・タイムトライアルの成績は次の順序により決定されます。

ベストタイムによる順位（同タイムの場合はセカンドタイム→サードタイムの順で採用します）

ノータイムの場合は最下位となりますが、ノータイムが複数台いた場合は、公式練習のタイム順で決めます。

・参加台数が 14 台以上の場合は、2 グループ以上に分けて行う場合があります。

・グループ分けする場合は、クラス毎の参加台数により変わりますので、別途公式通知にて発表します。

・タイムトライアル中、途中のピットインがあった場合、再出走は出来ません。

●決勝ヒート

・レース時間は 90 分です。

・レース中の**給油は禁止**です。

・スタート方式（スタンディングスタート）

1）スタートは信号機によるスタンディングスタートになります。

2）参加者はピットアウト後 1 周し、コース上スターティンググリッドに車両を止めて下さい。

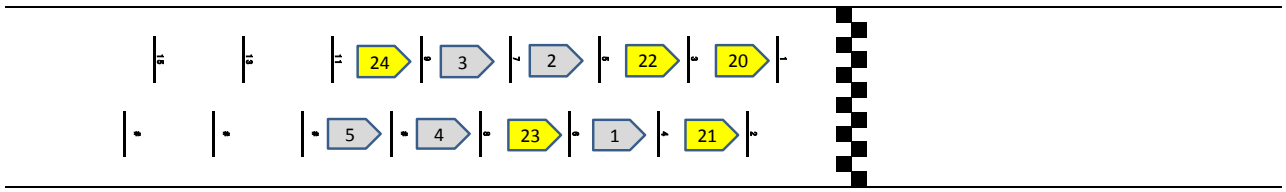
3）RK4・GT4 クラスに関係なくTT結果の速い順から順位を決め、グリッドに着きます。

4）これ以外は、スプリントのRK4・GT4 クラス方式に準じます。

・グリッド整列を図で説明

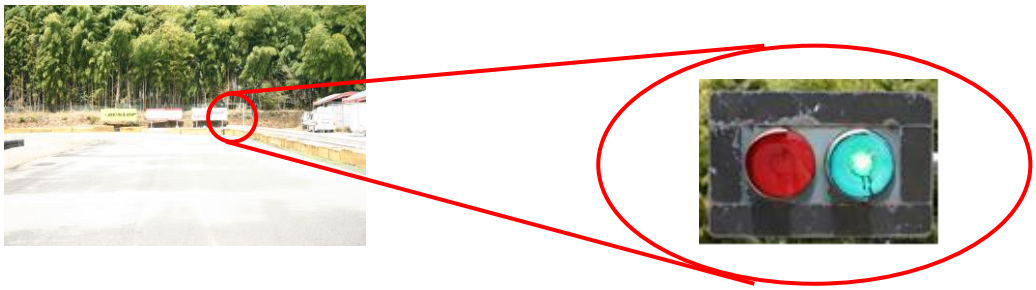
1）グリッド整列（スタート前）はクラスに関係なく、TT結果の速い順になります。

2）チーム紹介の後、フォーメーションラップを 1 周行い、再度グリッドについてから信号機（赤→青）でスタートとなります。



RK4 クラス車両　　GT4 クラス車両

このホームストレートエンドにある信号でスタート合図を行います。



・**ドライバー交代方法**（ピットストップについて）

1）**ドライバー交代回数**は、全クラス **4 回義務**とし、1 ストップあたり**RK4 クラスは“0 秒”**（ハンディなし）、**GT4 クラスは“130 秒（2 分 10 秒）”**を**“ピットストップハンディ”**とし設定します。尚、出走クラスが 1 クラス開催になった場合には、ピットストップハンディは設けません。（ピットストップハンディは、第 2 戦目以降変更になる場合あり）

2）コントロールタワー南側のピットロード上タイム計測ライン手前に**交代エリア**を**1 箇所**設けます。

3）ドライバー交代エリアは車両1台分しかない為、**1 台ずつの交代**になります。（ここ以外の交代は認めません）

4）ドライバー交代のタイミングでピット IN して、既に交代エリアに車両が居た場合は、その手前で待機していて下さい。その後の車両移動は、乗ったままか、手押しとします。（手押しの場合エンジン STOP 厳守です。）

5）交代エリアに入ったドライバー（走行が終わったドライバー）は、エンジンを停止させ降車し、速やかに交代記録表に名前（苗字）を記入して下さい。（この時、名前の記入を忘れた場合は、ドライバー交換無しと見なしますので注意して下さい。）又、交代エリアに入った時点でピットストップ時間の計測を始めます。（計測方法等の詳細は、当日のブリーフィングで発表します）

6）ピットストップハンディ消化後、スタートOKの合図があったら次のドライバーは、速やかにエンジンスタートして交代エリアから退出して下さい。（リコイルスタートの場合は 1 人まではサポート可とします。）

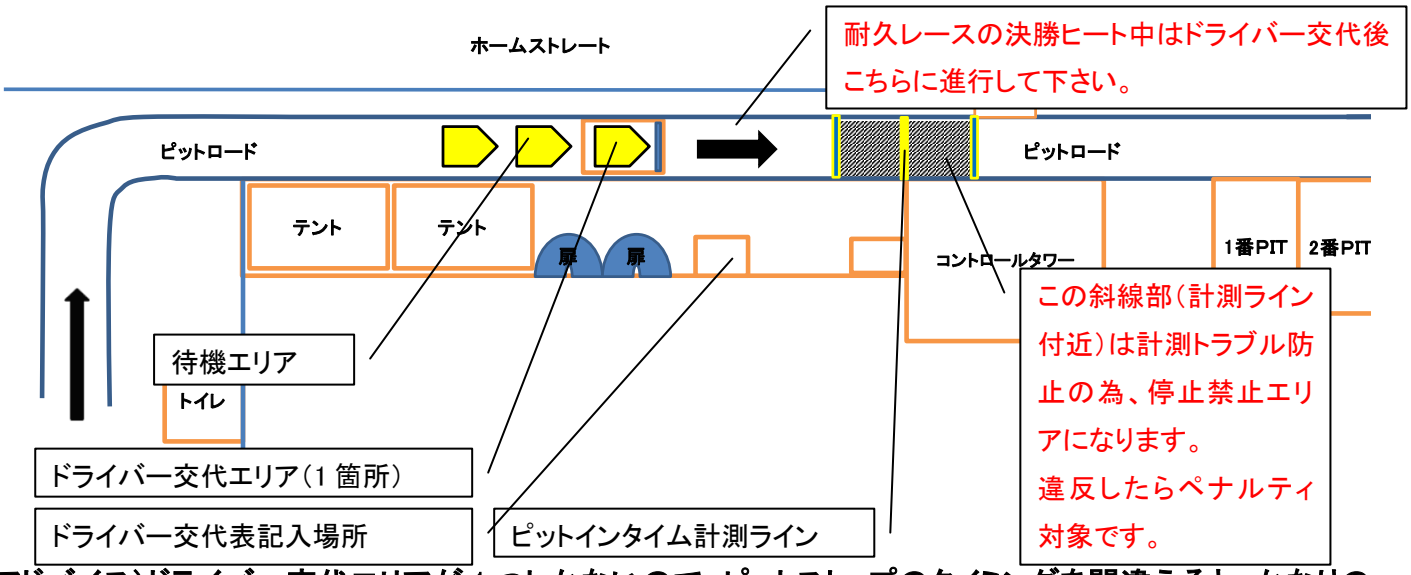
7）1 人で参加の方は、一度車両から降りて、交代記録表に名前（苗字）を記入し、ピットストップハンディ消化後に再度車両に乗車してスタートしたことにより、ドライバーを交代したとみなします。

8）セルスタートのエンジンが交代エリアで掛からない場合は、その場所の右側（コンクリート舗装面）の安全な場所に車両を移動して下さい。

9）下図のピットロードタイム計測ライン付近（斜線部）は計測トラブル防止の為、停止禁止エリアとなります。違反した場合はペナルティの対象となります。

10）ピットロードは全区間徐行となります。

（注意）耐久レースの決勝ヒート中は、下図の様な車両移動経路になります。



（アドバイス）ドライバー交代エリアが 1 つしかないので、ピットストップのタイミングを間違えると、かなりの順位変動があります。簡単に言うと、タイムが速いだけでは優勝できません。順位を上げるにはピット戦略が重要です。チームワークの良し悪しが勝敗を決めるレースになります。

○レース中のルール

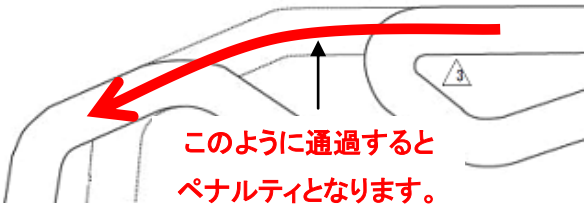
●コースは、常に先入優先とし、追い抜きするものは、前方の車の走行を妨害してはならず、また前方の車は、後続の車の進路を妨害してはなりません。

●コース員が、反則行為（プッシング、ブロッキング、その他の非スポーツマンシップ行為）とみなしたドライバーに対して白黒旗が提示されます。さらにその行為が、2 回以上に及ぶ時は失格とします。

●いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはなりません。**（但し、クラッチ付エンジンは、コース復帰の為、安全確認後の停止している場所での方向転換（U ターン）は認めます。その際もコースを逆走してはなりません。）**

●レース中は、危険回避などの止むを得ない場合を除き、コースを外れてショートカットをすることは認められず、当該行為はペナルティの対象となります。

●衝突を避ける為に、止むを得ずコースアウトした場合は、そのもっとも近いところから、再びレースに復帰しなければなりません。但し、下図のように退避路の通過はショートカットとみなしペナルティの対象になります。



●レース中、コースエリア内で、停止してしまった場合は、両手を高く上げて後続車にアピールし、他のカートが過ぎ去ってから、後方の安全を確認し、再スタートします。尚、再スタートできない時は、レースの障害にならないように、自分のカートをコース外の安全な場所に移動し、ヘルメットを被ったままレースの終了を待たなければなりません。

●レース中、コースエリア内で停止した時、コース員により危険回避の為、移動をされる場合があります。その後、自力で再スタートできる場合のみ再スタートを認めます。自力で再スタートできない場合は、リタイア扱いとなり、コース員によって排除されます。

●コース上における再スタートや修理は、ドライバー自信で行わなければなりません。**（修理はコース外の安全な場所で行うこと）**

●ドライバーは、工具等を携帯することはできません。又、工具を取りにピットに戻ったり、ピットクルーがコース内に立ち入って作業したりすることは、禁止します。

●ピットイン、ピットアウトは決められた場所で行わなければなりません。

●指定された作業エリア以外での作業を行ってはなりません。これに違反した場合はペナルティが科せられます。

●事故にみまわれたカートは、コース員によって、検査の為に停止を命じられる場合があります。

○給油について

レース中の給油は禁止する。

○レースの中断

●事故、安全性の問題またはその他、いかなる理由によっても、競技を中断する必要があるとみなされた場合、競技長の指示により赤旗が提示されます。その場合、全てのドライバーはただちにレースを中断し、コース員から指示された場合は、どの時点でも停止できる態勢で、ホームストレート上の指示された場所のコース左右両端まで徐行して停止してください。

●レース中断の結果は下記の通りです。

・レースが 60%終了している場合、レースは成立したとみなされ、赤旗提示前の周回時点の終了順序で結果が決定となります。

・60%未満の場合、レースは再走行となり、第1回目のスタートは無効、取り消しとなります。但し、耐久レースの場合、中断時間によて本日中に終了が困難と判断した場合は、赤旗提示前の周回時点の順位にて、グリッドから再スタートし、継続する場合があります。以上でも時間が足らない場合は、時間短縮で行う場合があります。

※決勝レースでは、中断する前の周にフィニッシュラインを超えたドライバーだけが、最スタートに参加できます。

・赤旗中断の場合、競技長の指示があるまでピットクルーはコースへの介入、及び車両の整備を行ってはなりません。

・ピットエリアで作業中の車両に対しても上記が適用され、グリッド上に戻れない車両については、ピットスタートとなります。

・コース上、ピット作業エリアでの燃料の補給は禁止されます。但し、競技長が認めた場合のみ、ピット作業エリアでの燃料補給を認めます。

○ドライバーサイン

●ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対しては、ペナルティが科せられる場合があります。

・ピットイン・ピットアウトする場合は片手を高く上げて、他車へ合図をする事。

・コース上で停止した場合は両手を高く上げて、他車へ合図をする事。

○レース終了

●レースの着順1位のドライバーがフィニッシュライン(ゴールライン)を通過後、2分以内に自力で同ラインを通過したドライバーに対して、チェッカー旗が振られその周回までがカウントされます。又、フィニッシュラインを通過する際には、ドライバーはカートに乗車した状態でなければなりません。(手押しで通過することは禁止です)

●ドライバーはフィニッシュライン通過後、徐々にスピードを落とし、正規のコースを走行してピットインしなければなりません。この時、追い越しは禁止となります。

●先頭のカートが、規定の周回数を終了する以前に、誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点をもって競技終了となります。また、遅れてチェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したものとして、順位が決定されます。

○完走(完走扱い)の定義

●完走とは、レースの着順1位のドライバーがフィニッシュライン(ゴールライン)を通過後、2分以内に自力で同ラインを通過したドライバーに対して、チェッカー旗が振られその周回までがカウントされます。フィニッシュラインを通過する際には、ドライバーはカートに乗車した状態でなければなりません。(手押しで通過することは禁止です)又、チェッカー旗とは関係なく、規定周回数の1/2周回(50%以上)を完了していれば完走扱いとなります。

○順位の決定

●レースの順位は、予選・決勝ともに次の順序により周回数の多い順で決定されます。

1)完走者(チェッカーを受けたドライバー)

2)完走者(チェッカーを受けていないドライバー)

3)周回数に基づく未完走者

4)失格者

○車両検査-2(出走後検査)

●レース後公式車検(各クラスの決勝ヒート終了後にカートを保管して行います)

・対象者は上位入賞者(基本は1位～3位までの方ですが参加人数により変わります)のみです。

・検査項目は使用タイヤ、エンジン型式、スキッシュ又はウエイト検査等になります。

・GT2クラスのみスキッシュ計測の為、プラグを外しておいて下さい。

※車検において不合格の場合は失格扱いになり、次順位の方が繰り上げになります。

○賞典と副賞

●各クラスともに決勝ヒートの順位により決定します。

●賞典はドライバーに対して行われます。

●賞典と副賞の内容は全クラス、下記の通りとなります。

・優勝:トロフィー+副賞

・準優勝:トロフィー+副賞

・3 位:トロフィー+副賞(参加台数が 6 台未満(5 台以下)の場合はなし)

・4 位:副賞(参加台数が 8 台未満(7 台以下)の場合はなし)

・5 位:副賞(参加台数が 10 台未満(9 台以下)の場合はなし)

※賞典の対象は、決勝ヒートにおいて完走扱いになったドライバーのみとなります。

○シリーズ賞

●全クラス 4 大会(第 1 戦～第 4 戦)中 3 大会以上の開催でシリーズ成立とします。

●シリーズポイントは下記のポイント表参照のこと

●**耐久クラスは、チーム名と代表者(ドライバー1 名)が一致することでシリーズポイントが与えられます。**

●全クラス、決勝ヒートのポイントは参加ドライバー(耐久クラスはチーム)に与えられます。

●有効ポイント制を採用し、第 1 戦～第 4 戦の内の 3 戦分を有効ポイントとしカウントします。さらに、FINAL(第 5 戦)を加点し、合計ポイントを算出します。

※4 大会のポイントの中で、獲得ポイントの多い順から 3 大会分が有効ポイントとなります。

※FINAL(第 5 戦)ポイントは通常ポイントの 1.5 倍とします。

※総獲得ポイントは〈有効の獲得ポイント〉+〈FINALの獲得ポイント〉となり、獲得ポイントの多い順からシリーズ順位を決定します。

●獲得ポイントが同一の場合は、以下の順で決定します。

1)上位入賞回数が多い順

2)以上でも決まらない場合は、最終戦のポイントが多い順

3)以上でも決まらない場合は、出場回数が多い順

4)以上でも決まらない場合は、第 1 戦のポイントが多い順(以降、第 2 戦ポイント…第 4 戦ポイントの順)

●通常ポイント(第 1 戦～第 4 戦)

参加台数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
4～6 台	10P	8P	6P	5P	4P	3P				
7～9 台	12P	10P	8P	6P	5P	4P	3P	2P	1P	
10 台以上	15P	12P	10P	8P	6P	5P	4P	3P	2P	1P

●FINALポイント(第 5 戦)通常ポイントの 1.5 倍

参加台数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
4～6 台	15P	12P	9P	7.5P	6P	4.5P				
7～9 台	18P	15P	12P	9P	7.5P	6P	4.5P	3P	1.5P	
10 台以上	22.5P	18P	15P	12P	9P	7.5P	6P	4.5P	3P	1.5P

〇シリーズ賞典・副賞 （全クラスに適用）

・優勝：トロフィー+副賞

・準優勝：トロフィー+副賞

・3 位：トロフィー+副賞

・4 位：副賞

※この他にも賞典を追加する場合があります。

※シリーズ副賞の授与は、1 レース当たり平均台数が 5 台以上の場合に限る。

〇ペナルティに関する事項

●競技に関する規則の違反者に対し、ペナルティが科されます。

●ペナルティの種類はタイム調整、順位降格、失格などがあります。

●違反に対するペナルティは全て競技長の判断により決定されます。

●競技中の違反行為については、ドライバーを停止させることなくペナルティを科す場合があります。

●主催者は状況に応じてペナルティを軽減したり強化したりすることが出来る。

●ペナルティの審議対象となる行為。

・フラッグ無視（フラッグの種類は別紙、旗信号機の説明図参照の事）

・車両規則違反（レギュレーション以外のものを使用した場合や不備など）

・服装規則違反（レギュレーション以外のものを使用した場合や不備など）

・ローリング隊列違反（ポジション復帰違反・その他隊列を乱す行為など）

・スタート隊列違反（隊列を乱す行為・ジャンプスタートなど）

・走行中の違反・妨害行為。（逆走・ショートカット・蛇行運転・カットイン・エッジイン（無理な突っ込み）・プッシュアウト（幅寄せ）・プッシング（後方からの接触）・悪質なブロッキング・その他の走行妨害行為など）

・ピットイン・ピットアウト時の後続車への合図違反。（片手を高く上げない行為）

・コース上で停止した場合の後続車への合図違反。（両手を高く上げない行為）

・ピットエリア・ピットロード違反行為（ピットロード徐行違反、作業違反など）

・ドライバーのモラル違反（指示無視、挑発行為、暴力行為、その他クレームなど）

・決められた場所以外の作業（ピットエリア以外の作業など）

・その他の危険行為

〇ピット、パドックエリア

●ピット内、及び、パドックエリアは火気、及び、発火物（タバコも含む）の使用は厳禁です。タバコを吸う場合は指定された喫煙所でのみ可能とします。

〇自動計測装置（トランスポンダー）の装着

●参加者は出走時に自動計測器（トランスポンダー）を車両に取り付けなければならない。取り付けを拒否した場合は、当該車両およびドライバーは出走を認められない。

●**取り付けは、専用ホルダーで、熱や振動の受けにくい場所に、タイラップ等で確実に固定すること。また、車両ごとの取り付け場所の違いによって、自動計測上と見た目の順位が変わる場合がありますので、注意して下さい。**

●自動計測装置（トランスポンダー）の配布は、選手受付時に行ない、返却はレース終了後からとする。万一破損、紛失した場合、1 個につき50，000円が主催者より請求される。

●自己所持する自動計測装置（マイポンダー）を使用する場合は、事前にID．Noを登録すれば使用ができます。但し MYLAPS 社（旧 AMB 社）製の TranX160、TranX250、TranXPRO に限る。

〇装備

●ヘルメット（フルフェイスに限る）

日本工業規格（JIS） T8133：2007

JIS-2 種

SNELL規格（SA2000 以降）

JAF 公認カートヘルメット など

●服装

・GT4・IMPカデット・GT2 クラス

充分な強度を備えた皮製、又は、過去 10 年以内に JAF,FMK/FIA,CIA/FIA の公認を受けた実績を有するカート用スーツの使用が義務づけられます。

スーツの一部が破けていたり、擦り切れていたりした場合は不可とします。

レンタルスーツが数着ありますので、ご利用下さい。但し、レンタルカート走行申し込み者優先とします。

・RK4 クラス

レーシングスーツを推奨しますが、厚手の長袖、長ズボンでも可とします。（スエットは禁止です。）

●グローブ

レーシンググローブなどの皮やスエード等擦れなどに強い素材を推奨します。

●シューズ

レーシングシューズなどの足首まで覆うもので、ペダル操作に支障をきたさないものを推奨しますが、運動靴でも可とします。

〇排気音量制限

●オフィシャルがうるさいと感じた車両については、主催者が排気音量測定をする場合があり、改善されない場合はレースから除外される場合があります。

〇主催者の権限

●出場参加申込に際して、その理由を示すことなく参加を拒否することが出来る。

●大会スポンサーの広告を参加車両に貼り付けすることが出来る。

●ゼッケンナンバー・ピットの割り当て等にあたり各参加者の優先順位を決定することが出来る。

●その他、最終権限は主催者にあるものとする。

〇損害に対する責任

●参加者は、参加車両、及び、その付属品、ならびにコースの施設、機材、器具に対し、損害補償責任を負うものとする。

●主催者、及び、大会役員の業務遂行に起きた、ドライバー、ピット要員の死亡、負傷、及び、車両の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するもの、及び、大会役員は、一切の保障責任を負わないものとします。

●参加者が未成年の場合は親権者が責任を負うものとする。

〇大会役員の責任

●参加者、ドライバー及びピットクルーは大会役員が一切に損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち、大会役員はその職務に最善を尽くすことは勿論であるが、その行為によって起きた参加者、ドライバー、ピットクルー及び競技車両の損害に対して大会役員は一切の補償責任の無いことをいう。

〇抗議

●抗議はできない。抗議により大会進行の妨げや著しく非難があった場合、競技監督はその当該者に対して罰則を与えることが出来る。

〇大会延期、中止

●主催者は、競技の一部あるいは、全部を延期、又は、中止することができる。

●イベントの全部を中止し、あるいは 24 時間以上延期する場合は、エントリーフィは返還されます。但し、保険金は返還されません。

●エントラント、及びドライバーは、これによって生じる損失について、主催者に抗議することは出来ません。

●主催者は、大会審査委員会の承認を得て、イベントの内容を変更する権限をあわせて所有するものとします。

●以上に対する抗議は一切認められません。

〇肖像権及び個人情報について

●レース主催者は、次の個人情報について、レース運営に必要な範囲で利用いたします。

・参加者の受付名簿作成等に必要とされる情報

・レースリザルト（成績表）の作成に関する情報

・その他、レースイベントを円滑に行うために必要とされる情報

●大会期間中に撮影された写真・ムービーなどを、主催者及び関係者が、ホームページ、雑誌、SNSを含む一般公開動画サイト等に使用することがあります。

〇公式通知の発行

●本規則書に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則書に生じた必要指示事項は公式通知によって示されます。

公式通知は

① エントラントもしくはドライバーの住所に郵送される。

② 大会事務局に掲出される。

③ パドックの掲示板に掲出される。

④ ドライバーズブリーフィングで指示される。

⑤ 緊急の場合は場内放送で伝達される。

以上の方法によって、参加者に通知されます。

〇旗信号機の意味

旗の種類	旗の意味	旗の種類	旗の意味
国旗	・タイムトライアルスタート合図。 ・レーススタート合図 （通常は、1コーナーアウト側の信号を使用します。）	オレンジボール旗 ＋文字付きサインボード 1 サインボードを使用しない場合は指差しになります。	この旗を提示されたドライバーは、自分もしくは他のドラーバーに危険を及ぼすような問題に見舞われており、早急にコース上から退去し安全な場所に停止、又はピットインする。
黄旗	危険予告 コース上（ランオフエリアを含む）に危険がある。 減速、停止準備、 該当する危険ポイントまで追い越し・追い抜き禁止。	白地に赤×印の表示旗	ローリングスタートでローリング中に隊列から大きく遅れてしまい、この表示板が出された場合、隊列の最後尾につかなければならない。
青旗	後方より速いカートが近づいている場合に提示 （静止）後方より速いカートが近づいて来ているので、現在の進行方向を維持 （振動）後方より速いカートが近づき、追い越そうとしているので、進路をゆずる。	対角線で黒白に分けた旗 ＋文字付きサインボード 1 サインボードを使用しない場合は指差しになります。	非スポーツマン的行為に対して、最後の警告 非スポーツマン的行為とは、他のカートに対し故意のプッシング、ブロッキング、接触、蛇行運転などを言う。
赤旗	レース中断 全てのドライバーは最大限の慎重さと注意をもって徐行し、オフィシャルの指定した場所に車両を止める。	黒旗 ＋文字付きサインボード 1 サインボードを使用しない場合は指差しになります。	指示されたドライバーへのピットイン命令 当該ドライバーは、ピットイン後、オフィシャルの指示に従う。 この旗を出さずにレース後に（タイム・周回など）ペナルティを科す場合あり。
緑に黄色の山形	ミススタート 再度スタートを行う場合に使用する。 加速タイミング早過ぎ、スタートライン手前追い越しなど。	チェッカー旗	レース終了。 レース終了時に、この旗を2 回以上受けるとダブルチェッカーペナルティの対象となります。
緑旗	ローリングスタート、又は、フォーメーションラップスタート合図。		

※黄旗の後の追い越し禁止区間は、黄旗から黄旗原因の場所までとなります。

技術規定

○各クラス共通規定

●カート全般

・サイドボックス（サイドカウル）、フロントゼッケンパネル、及び、フロントフェアリング、リアバンパーを必須とします。

・バンパーは必ず前後に装着するものとします。（リアバンパーは大型が望ましい）

・サイドバンパーの役割は、サイドボックス（サイドカウル）により補われるものとします。

・コース上にオイルを流出飛散させる構造物の取り付けは禁止します。

・チェーンガードは必須とします。（フルカバーが望ましい）

1）車両上方向からみてチェーンが見えない状態であること

2）車両側面よりみて、エンジン側スプロケットとアクスル側スプロケットを結ぶ線上の部分を有効に覆っていること

3）車両側面よりみて、エンジン側スプロケットが見えない状態であること

●ゼッケン

・スプリントレースに出場される方

1）ゼッケンは各自で用意していただきます。

2）ゼッケンは、フロントゼッケンパネル、サイドボックス（左右）、の最低3箇所は付けてください。

3）ゼッケンベースとゼッケンの色は自由としますが、同系色は避けて見易い色（黄色ベースに黒文字、白色ベースに赤文字か黒文字など）でお願いします。（蛍光色は禁止します。）

4）ゼッケンベースの大きさは□170mm以上で、数字は縦 150mm以上とします。

5）希望のゼッケンは、RK4 クラス以外は 2～99 までの数字を選び、エントリー用紙に希望ゼッケンを記入して下さい。但し、同じゼッケンの希望者が先着であった場合は受付順を優先します。

6）RK4 クラスのマイカートの方は、ゼッケンを当方で指定しますので、そのゼッケンを付けてください。

※ゼッケンNo.1～15 は IMP レンタル車両で使用の為、**マイカートの方はNo.16～19** になります。

・耐久レースに出場される方

1）ゼッケンは当方で用意しますので、配布されたゼッケン（フロント用 1 枚のみ）をフロントパネルにガムテープなどで貼って下さい。（番号は当方で決めます）

2）車両の前後左右に元から付いているゼッケンは認識しないで、フロントパネルのゼッケンで認識するものとします。

3）クラス判別の為に、下記の通りベース色と番号区分で区別します。

① RK4 クラス：ベース色は黄色以外で自由とする（文字は見易い色とする）、番号は 1～19 とします。
ゼッケンの内訳（ゼッケン No.1～15：レンタルカート，ゼッケン No.16～19：マイカート）

② GT4 クラス：黄色ベース（文字は見易い色とする）、番号は 20～39 とします。

※ガムテープを剥がす祭に、糊残りが発生する場合があるので、気になる方は、保護シートなどを貼っておいて下さい。

車両規定

クラス名称	エンジン規定	エンジン機種	シャシー	タイヤ	最低重量
RK4 クラス （IMP　4st　レンタルカート：GX200、又は同等車両）	**メーカー出荷状態とし一切改造不可とする。** 自動遠心クラッチ付に限る。 セルスターター付きも可とする。	・ホンダ製など GX200 ノーマルマフラー 又は、海外製のGX200 コピーエンジンなど 但し、OHV式で性能は同等品に限る 不明な場合は問い合わせ願います。	自由 但し、市販車に限る。 ※ジュニア用シャシーは不可とします。	ドライタイヤ ・DL：DF2 ・DL：DRK-SP ダンロップ製レンタルカート専用タイヤに限る レインタイヤ使用不可	規定なし
GT4 クラス （4st　スポーツカート）	2017 年度　K-TAI の規則に準ずる。	・ホンダ製 GX200 GX200SP GX270 ・スバル製 EX21 EX27 KX21 ・ヤマハ製 MZ200 その他のエンジンについては問い合わせ願います。参加できる場合でもハンディを設ける場合があります。	自由 但し、市販車に限る。 ※ジュニア用シャシーを使用する場合はハンディがあります。	ドライタイヤ ・BS：YDS(HF) ・YH：ED ・DL：DF2 ・DL：DRK-SP レインタイヤ ・BS：SL94 ・YH：SL03 ・DL：SLW2	規定なし
GT2 クラス （2st空冷ピストンバルブ 100cc）	**各エンジンともメーカー出荷状態とし一切改造不可とする。**	ヤマハ製 KT100SD KT100SC KT100SEC KT100FP/SP※ PRD 製 RK100※ などのピストンバルブエンジンに限ります。 上記以外のエンジンについては問い合わせねがいます。 ※使用エンジンによりハンディをつけます。 （　　※印エンジンは調整ハンディがありますので P19 のハンディを参照して下さい。）	自由 但し、市販車に限る。 ※ジュニア用シャシーを使用する場合はハンディがあります。	ドライタイヤ 自由 ※但し、YMM、YMHなどのハイグリップタイヤに属するタイヤは不可とします。 ※使用するタイヤによりハンディがあります。 レインタイヤ ・BS：SL94 ・YH：SL03 ・DL：SLW2	規定なし

クラス名称	エンジン規定	エンジン機種	シャシー	タイヤ	最低重量
IMP カデットクラス	**エンジンはメーカー出荷状態とし一切改造不可とする。** クラッチ・セルスタート付に限る。	ヤマハ製 KT100SEC(カデット仕様) シリンダヘッドガスケットは純正の 7ET-11181-10(t=0.4mm)のアルミ板を 3 枚以上入れ、ガスケットの総厚みが 1.2mm未満にならない事。 ヤマハ純正のジョイントキャブレター φ 14.5 mm (7YU-13586-09)の装着。	自由 但し、市販車に限る。	ドライタイヤ SLJ 又は同等品 レインタイヤ ・BS:SL94 ・YH:SL03 ・DL:SLW2	規定なし

○エンジン規定

●カデット、GT2 クラス共通項目

・**エンジンは、メーカー出荷状態とし、改造(切削・付加等)は一切禁止**します。(例:ボアアップ、ポート加工、ヘッド面研磨、排気・吸気系、電気系、その他全て)但し、年式変更に伴う純正共通部品相互の交換は認めます。

・エンジン構成パーツの取り付け方法、取り付け方向はメーカー出荷時の状態でなければなりません。但し、規定内のメーカー純正消耗品交換部品やスキッシュ調整ガスケットの交換は認められます。

●カデットクラス

・エンジンは、ヤマハ製 KT100SEC(カデット仕様のセル・クラッチ付)のみとなります。

・シリンダヘッドガスケットは純正の 7ET-11181-10(t=0.4mm)のヘッドガスケット(アルミ板)を 3 枚以上入れ、ガスケットの総厚みが 1.2mm未満にならない事。又、キャブレターにφ14.5mmのメーカー純正テーパージョイントキャブレター(7YU-13586-09)の装着が義務となります。

●GT2 クラス

・使用できるエンジンは、ヤマハ製 KT100(SD、SC、SEC、FP/SP)、PRD 製 RK100 などの**ピストンバルブエンジン**で排気量は **100cc未満**です。(エンジンによりハンディがありますので P19 のハンディを参照して下さい)

・KT100SD,SC,SEC(SS 仕様)の場合、**スキッシュエリア(燃焼室圧縮比制限)の確保**が規制されます。エンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所を計測し、その数値の合計が 4.5mm以上あることとします。数値が確保できない場合は、メーカー純正の 7ET-11181-10(t=0.4mm)のヘッドガスケット(アルミ板)の他に、SLO 公認(銅製の 3 種類)調整用ガスケットのいずれかを用いて調整してください。(枚数の制限はありません)

〈指定調整用ガスケット〉

1, ヤマハ純正(7ET-11181-10)アルミ製(t=0.4mm)

2, SLO 公認(0.05mm、0.1mm、0.2mmの 3 種類)銅製

〈使用例〉

調整用のガスケットは、指定されたものであれば枚数や組合せに制限はありません。

1, 純正のアルミガスケットのみを 1 枚か 2 枚以上入れて調整

2, 純正のアルミガスケットと SLO 公認の調整用ガスケット(3 種のいずれか)を組み合わせて調整

3, SLO 公認の調整用銅ガスケット 3 種のいずれかを組み合わせて調整

〈計測方法〉

プラグホールからφ3mm以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所(ドライブ側と電気側)にセットし、クランクシャフトを 1 回転させ潰れたハンダの厚みを計測します。ドライブ側と電気側の潰れたハンダ厚みの合計が 4.5mm以上あればスキッシュエリアは合格とします。

ハンディについて

〇シャシーによるハンディ（全クラスに適用）

●ジュニア用シャシー使用の場合

・大人用シャシーに対し重量の差を無くす為に、状況に応じてハンディタイムを加算するかウエイトハンディを付ける場合があります。

ハンディは競技の上、決定します。

〇エンジンによるハンディ

●RK4 クラス

・IMP4stレンタル車両、または同等車両の為、ハンディなし

●GT4 クラス

・2017 年の K-TAI エンジョイクラスに出場できないエンジンを使用したい場合は、問い合わせ願います。

参加可能な場合でも、状況に応じてハンディタイムを、タイムトライアル、又はレースタイム、又は両方に加算するまたは、ウエイトハンディを付ける場合があります。

ハンディは競技の上、決定します。

●IMP カデットクラス

・エンジンのハンディは設けません。（規定のエンジンを使用して下さい。）

●GT2 クラス

・エンジン規定の GT2 クラスに合格したヤマハ製KT100（SS 仕様）エンジンを基準とし、それ以外のエンジンに関しては、ハンディを設けます。（ハンディとして　ウエイト追加、ヘッドガスケット追加、ジョイントキャブレター径変更、ギヤ比指定、ハンディタイム加算などが考えられます。）

ハンディはエンジン特性を考慮し、協議の上、決定します。

・調整ハンディ確定エンジン

・ヤマハ製　KT100FP/SP　→　ヘッドガスケット追加によりスキッシュエリアの確保（KT100SS 仕様と同様にエンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所の合計が 4.5mm以上になるように調整）又は、ウエイト 15kg追加のどちらか選択できる。

※スキッシュエリアの確保を選択した場合は、P18 のエンジン規定 GT2 クラスの調整用ガスケットの説明文などをよく読んで対応お願いします。

※ウエイトを選択した場合は、各自で用意して下さい。尚、ウエイトは数値入りのものでシートに M8 以上のボルトおよびナットで固定して下さい。

・PRD 製　RK100　→　純正のヘッドガスケット追加によりスキッシュエリアの確保（KT100SS 仕様と同様にエンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所の合計が 4.5mm以上になるように調整）又は、ウエイト 15kg追加のどちらか選択できる。

※スキッシュエリアの確保を選択した場合は、P18 のエンジン規定 GT2 クラスのヘッドガスケット測定方法の説明文などをよく読んで対応お願いします。また、ガスケットは純正品を組合せて行ってください。（通常より枚数が多くなるので注意して下さい）

※ウエイトを選択した場合は、各自で用意して下さい。尚、ウエイトは数値入りのものでシートに M8 以上のボルトおよびナットで固定して下さい。

※上記のハンディは、第１戦目に適用となり、２戦目以降は変更になる場合があります。尚、変更する場合は、公式通知でお知らせします。

※上記以外のエンジンハンディについてはその都度、協議の上、決定しますので問い合わせ下さい。

〇タイヤによるハンディ

●RK4 クラス

・タイヤによるハンディは設けません。（規定のタイヤを装着願います。）

●GT4 クラス

・タイヤによるハンディは設けません。（規定のタイヤを装着願います。）

●IMP カデットクラス

・タイヤによるハンディは設けません。（規定のタイヤを装着願います。）

●GT2 クラス

・SL17、SK07、SL9、MOJO D1、SLFD…ハンディなし

・MOJO　D2、SL6 などのセミハイグリップタイヤに属するもの…0.3 秒を TT のタイムに加算

※YMM、YMH などのハイグリップタイヤは不可とします。

※使用タイヤにより、上記のハンディをタイムトライアル、又はレースタイム、又は両方のタイムに加算します。

〇連続優勝ハンディ（全クラスに適用）

●同年度に 2 回連続して優勝したドライバー（チーム）は、次戦出場時に 4Kg のウエイトハンディを付けます。又、3 回連続優勝の場合は次戦にプラス 4Kg（合計 8Kg）、4 回連続はプラス 4Kg（合計 12Kg）…とウエイトハンディを付けます。

※連続優勝とは 2 戦（又は 3 戦、又は 4 戦）連続優勝した場合であって、間に不参加などあった場合は除きます。

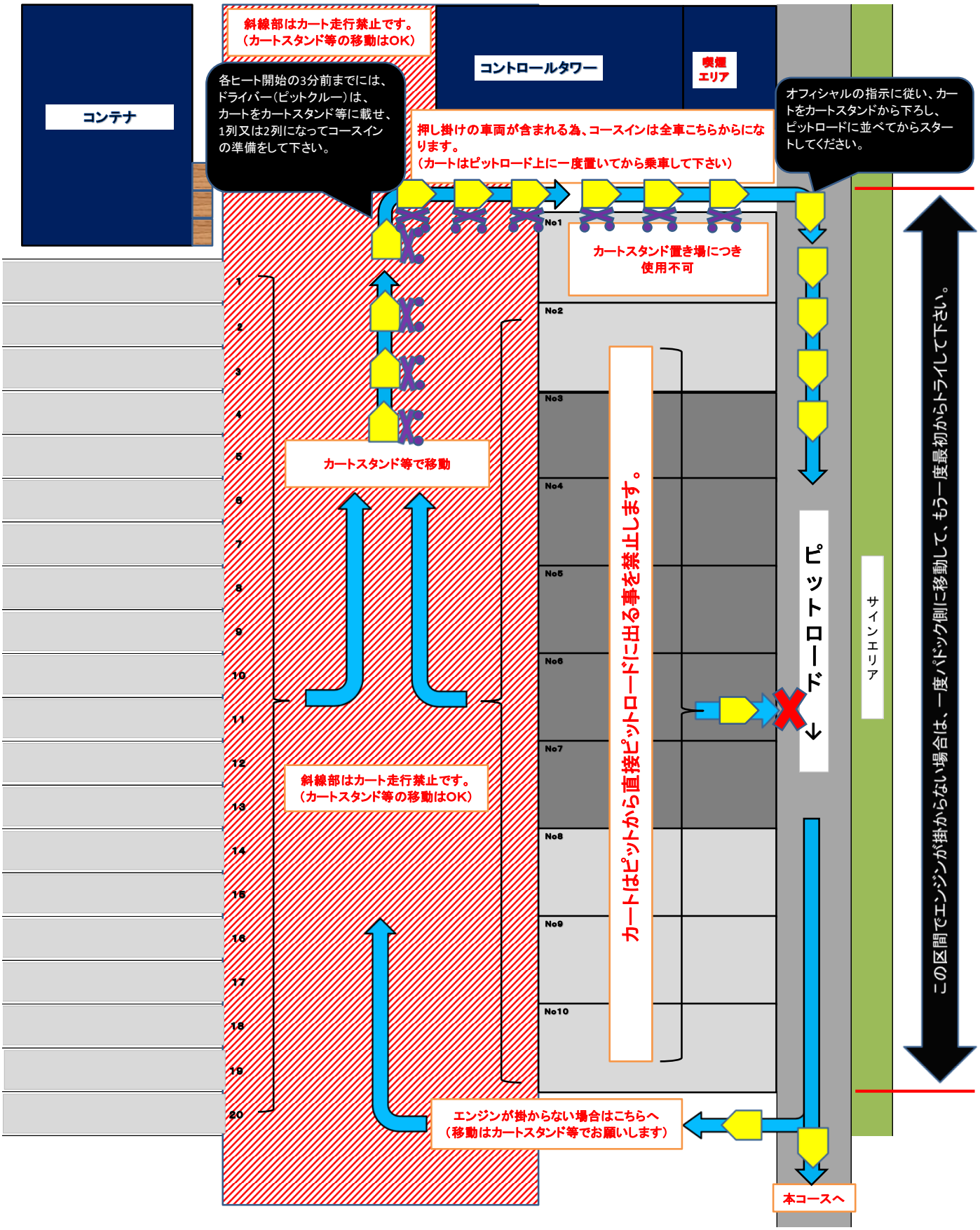
※ウエイトは当方で用意しますが、固定は各自でお願いします。（レース終了時必ず返却の事）

●当日の順位が 3 位以内の場合は、次戦のハンディは現状維持のままとし、ウエイトハンディがクリア（ハンディなし）になるのは、4 位以下になった場合のみとします。

○各ヒートスタート前のパドック内カート移動経路について（全てのクラス・レースに適用）

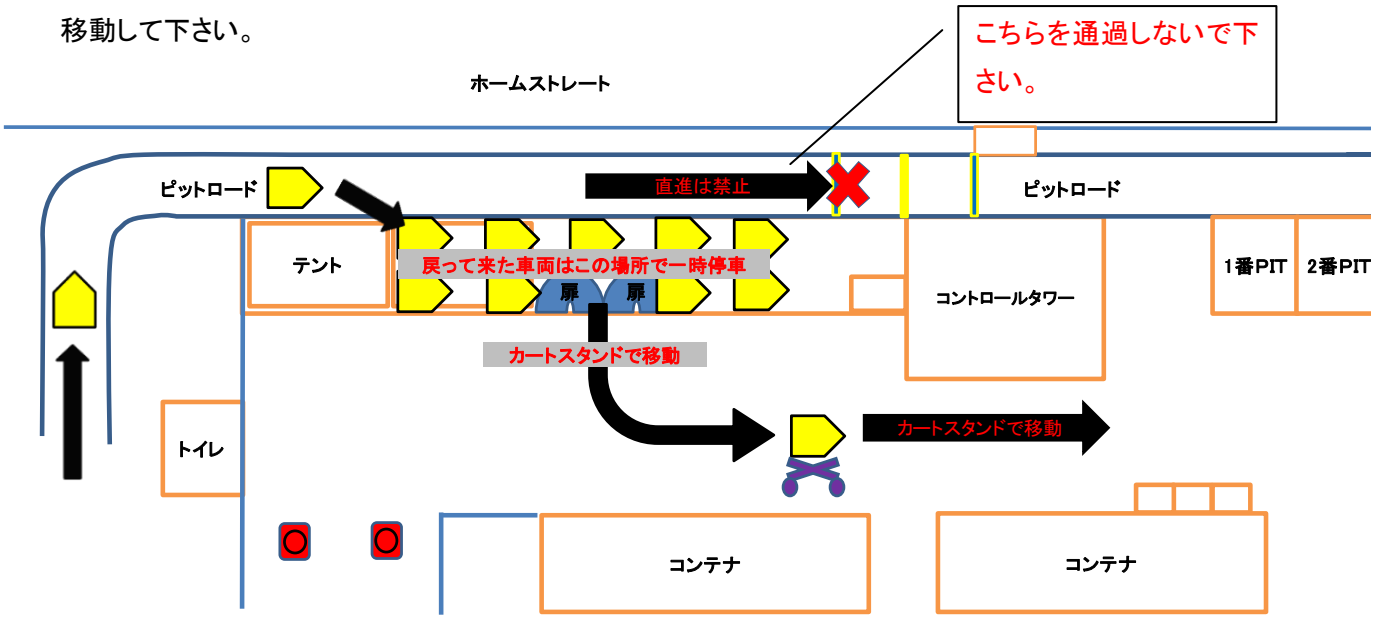
●レース当日は、安全とスムーズな運営上の理由から、下図の様にパドック内のカートの移動経路を制限しますので、ご理解、御協力お願いします。

2018 IMP Kart Race パドック内カート移動経路（コースイン手順）



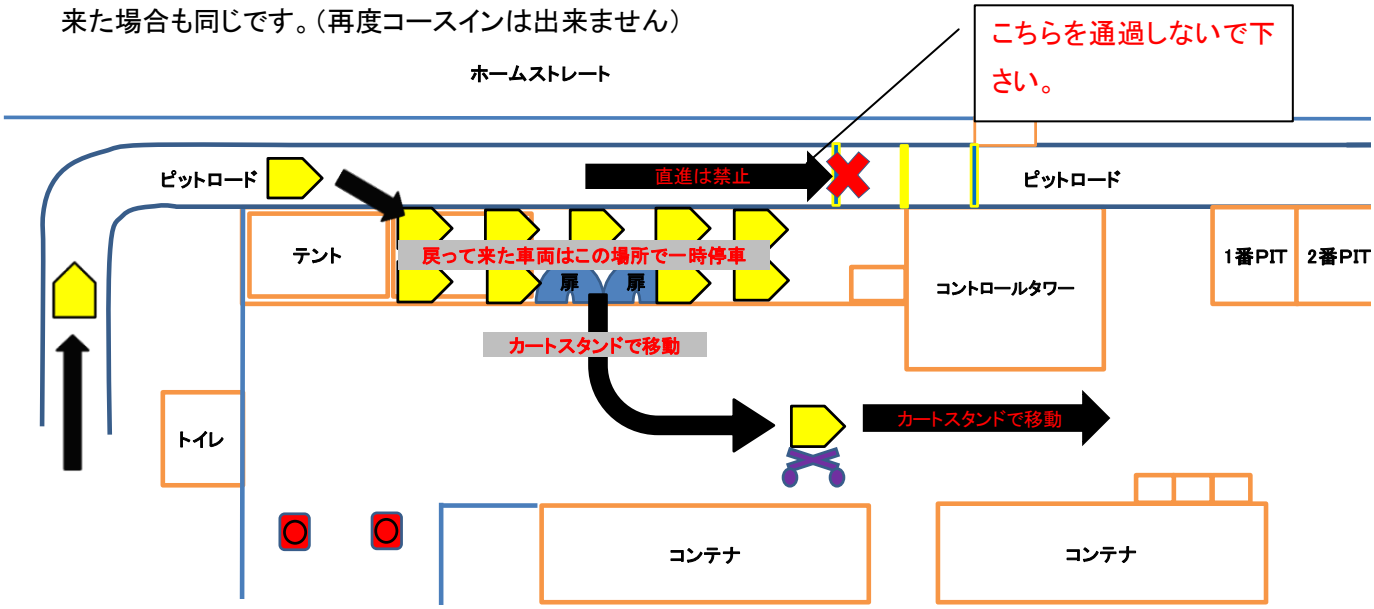
○スプリントクラスの公式練習終時カート移動経路について

●公式練習の途中及び終了後に戻ってくる場合は、下図の様に車両を停車させ、カートスタンドに載せてピットまで移動して下さい。



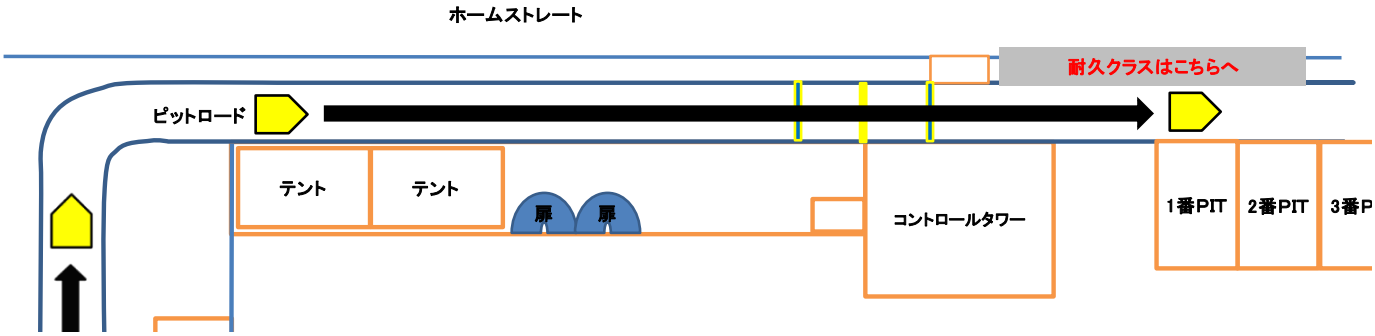
○スプリント及び耐久クラスのタイムトライアル、及び予選ヒートと決勝ヒート時カート移動経路について

●タイムトライアル及び予選と決勝ヒート終了後（チェッカーを受けた後）は、下図の様に車両を停車させ、カートスタンドに載せてピットまで移動して下さい。又タイムトライアル中、チェッカーを受けずに、途中でピットロードに戻って来た場合も同じです。（再度コースインは出来ません）



○耐久クラスの公式練習時カート移動経路について

●公式練習の途中及び終了後に戻ってくる場合は、下図の様に各チームのピットに速やかに移動して下さい。



2017 年からの変更点（変更箇所は規則書内の紫色文字部分）

1,　参加料金の変更（マイカートとレンタルカートの料金比率を調整）…P3

2,　IMP レンタルカート使用チームの車両抽選方法変更…P4

3,　エンジン規定の明確化及び一部変更…P18

4,　エンジンによるハンディ変更…P19

5,　連続優勝ハンディ変更…P20

6,　規則変更により後車検追加…P10